



「小さな感動」

映画「UDON」のロケが行われ、そして今年の夏から公開され、県内ではさぬきうどんブーム再び！とにぎやかでした。先日久しぶりに、「UDON」のロケ地丸亀市土器町宮池に行ってきました。前回行ったのはまだロケが行われている時でしたから、公開後は初となります。行ってびっくり・・・。ロケ地への誘導看板はあるし、

駐車場ができていて、出入り口もはっきりわかりますし、きちんと整備され



ています。おみやげ物屋さんにはずらりと各店のうどんが並び、中ではバイトさんらしき女の人がニコニコ接客をされておりました。この光景に少々びっくりしてしまいましたが、ロケ地はなんだか緑と池と山があり、本当にほっとする場所でした。映画の舞台松井製麺所と宮池&飯山を携帯電話のカメラで撮りました。

その日の夕方パソコンで見ると、これがなかなかいい写真・・・。ロケ地を選ぶ映画監督さんたちの目というのはすごいなあと、あらためて感じたわけです。

「世界の中心で愛をさけぶ」の監督行定勲氏も庵治町を偶然訪れて、ここだあと決めたと聞いています。庵治のロケ地で写真をとると、やっぱりいい風景がちゃんと私でも撮れちゃうんです！映画のロケ地というのはプロのカメラマンが撮影すれば、勿論すばらしく美しい映像が撮れて当たり前ですが、素人の私のようなものが携帯電話の



カメラで撮ったとしても、かなりよい写真となるという事に小さな感動を覚えた

わけです。

うどんつながりで小さな感動と言えば、先日、琴平の手打ちさぬきうどんの超有名店に行ってきました。東京の友人がどうしてもその店のうどんが食べたいと言い、二人で出かけました。駐車場は広く、店の入り口からはいつも長い行列。二人で並び、うどんを食べるまでになんと待つこと1時間・・・（実のところ、待たなくてもおいしいうどん屋はいくらでもあるんだから、ここにこなくても思っていたわけです）。

でも、その店に行って少し暖かい気持ち

つもちゃんの

ドク
バタ
ラジオ日記

になったんですね。確かに待つことは待つのですが、お店の中に入るとうどんを打つおじさんも、注文をとりに来てくれるお姉さんも、店で働く人がなんだかせせこせていないんです。次から次に来るお客さんを「捌く」というのではなく、一人一人をちゃんと「おもてなし」をしてくれている、そんな感じなんですね。話も盛り上がるし、笑顔もいっぱい。待たせたぶん、店ではゆ

っくりと……。そんな気持ちがあるんでしょうか?? そこで、やはり小さな感動!この店の強みはうどんの味だけでなく、もしかすると人の味があるからなのかなあと一人つぶやいておりました。また行ってみたいなああと、ちょっと思ったりしております。

小さな感動はいいものです。この秋たくさん見つけたいと思っております。

お す す め 取材日記

「わが家ギャラリー木きん堂」

三豊市山本町辻（マルナカ山本店近く）に8月にオープンした大河内工務店さんの敷地内にあるカフェ&ギャラリーです。

地域のコミュニティーの場にと、もともと資材倉庫だった建物をリフォームしてとてもおしゃれな場所に。約60坪の店内には様々な椅子とテーブルがあり、お気に入りの場所を選べます!ロフトにはシアタールームがあり、DVDの持ち込みもOKです。檜風呂も洒落であるのです(笑)

ドリンクはセルフサービスの500円(でなんと飲み放題)

外に出ると芝部のガーデン、なんともいやされる場所です。

<営業> 9:40~16:00 <定休日> 日&月曜日

<お問い合わせ> 0875-63-4355

